

こなん水辺公園ニュース

2011年9月号(通算第12号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

スジアカクマゼミが、夏が終わるのを惜しむように鳴いています。まだまだ暑い日が続いていますが、こなん水辺公園にも確実に秋の気配が感じられます。ヨシの穂がそろそろ出てきました。

散策路のアキノノゲシ

水辺の周りの散策路に沿って、アキノノゲシが点々と咲いています。路傍雑草としてもよく見かける植物ですが、控えめな色合いで、つい見過ごしてしまいがちです。こなん水辺公園をゆっくりと散策しながら、普通の花を楽しんでみるのも良いと思います。

ヤブツルアズキやツククサなど、道ばたの小さな植物をじっくりと観察できるのもこなん水辺公園の魅力です。



アキノノゲシ



ツククサ

ミニ水生植物園は花盛り

奥の蓮畑に咲いていたミズアオイはそろそろ終わりですが、管理学習東横のミニ水生植物園では、今ミズアオイが満開です。少し肥料を控えめにした鉢で栽培しているため、葉は小ぶりで茎も細いのですが、その分、花が目立ちます。



ミズアオイ

ヒツジグサは今年は食害がひどく、夏の間はなかなか花が咲かなかったのですが、9月に入ってよく花をつけるようになりました。お昼頃が見頃です。見慣れた睡蓮とは違った小さな花を御覧下さい。

ミニ植物園の鉢には、植物だけでなく、蝶のコムラサキが水草の鉢に水のみによってきてたり、アマガエルがいたりします。また水の中には、ゲンゴロウの仲間やコミズムシという小さな昆虫がいたりします。花と一緒に楽しみ下さい。



ヒツジグサ

チョウトンボ

蝶なのかトンボなのか？不思議な名前です。正解は、羽根の模様から、蝶々のように見えるトンボのことです。こなん水辺公園の池の周りで、よく見かけることができます。金属光沢のある濃紺のトンボです。抽水植物（水の中から葉や茎を水上に伸ばす植物）が豊かな水辺を好む生き物です。飛んでいる姿は、たいへん優雅で美しいトンボです。



チョウトンボ

今年も！河北潟自然再生まつり

昨年、250名の参加で大成功した「河北潟自然再生まつり」が、今年も10月16日に、メイン会場をこなん水辺公園として開催されます。

今年は、一斉水質調査のほか、昨年好評だっためった汁の炊き出し、ゲーム、カヌー体験、自然観察会、各種展示、農産物の直売など、昨年よりも盛りだくさんのプログラムです。昨年登場したモンゴルの移動式の家「ゲル」や、昔河北潟の辺にあった舟小屋を再現します。



昨年の「まつり」より

2011年9月18 (日) 曇り

園内で見られる鳥

カルガモ、アオサギ、コサギ、クサギ、フェウサギ、カワセミ、ミサゴ、ハシボツガラス、ハラアトガラス、トビ、キンバト、キジ、ツバメ、ムクドリ、バン、カイツブリ

スズアカクマゼミの成虫の音があります。
オオコシロシの鳴くのが聞えます。

このふたつは生息している
アトコシロシの解説です。

アトコシロシです。天気の良い日は
池でたたく声も聞かれます。

こなん水辺公園パンフレットが置いてあります。
橋を渡ってアトコシロシのところに置いてあります。
見たい方は、こちらにお立ちください。

生きもの情報

- 1 スズアカクマゼミやアトコシロシなどのセミが園内でたくさん鳴いています。
- 2 キチロウ、ムササビ等の水鳥のチヨウが見られます。
- 3 水辺の草の上でアトコシロシが甲らばししています。
- 4 水辺ではキンヤンクヤンオカシ、チヨウシロシ、イトシロシなど色々なチヨウが見られます。
- 5 田んぼや池にはノボリカサカサ、スズメバチ、シジミヤクニンがいます。
- 6 草むら歩きするとバツヤイフコガとびやハネバチが飛びまわります。
- 7 大宮川で鯉、鮒、留魚が釣れます。望遠鏡や双眼鏡貸し出します。ご希望の方は管理人室へどうぞ。














